

こんにちは！若井産業です。今回の若井ニュースは『各表面処理の特徴』についてお伝えいたします。
また、プチ豆知識は、ダンバを錆びにくいオーステナイト系ステンレスで製造しない理由をご説明いたします。
ご一読いただければ幸いです。

Q. 表面処理、それぞれの特徴は？

A. 下記の表をご確認ください。

表面処理	外観	ねじ材質	特徴
三価ユニクロ		鉄	建築用ねじに広く利用される。 電気亜鉛めっき後に、六価クロムを含まない溶液で化成皮膜処理を施している。
クロメート		鉄	三価ユニクロに比べ、電気亜鉛めっき後の化成皮膜処理で用いる処理液のクロム濃度が高い。 耐食性は比較的高いが、六価クロムを含有する。
ダクロ		鉄	亜鉛フレークとクロム酸に浸漬後、 焼付け処理をした複合皮膜。 水素脆化による破損の危険性が極めて低いとされている。
		SUS410	
すずめっき		SUS410	下地にNi、Cuめっき処理を施した合金めっき。 装飾または、ステンレス製品の焼付き防止を目的として採用されてきた。
パシペート		SUS410	『不動態化処理』と呼ばれる防錆処理。 硝酸処理により、表面に不動態皮膜を生成する。 ステンレス鋼の原色が保持される。

プチ豆知識

ダンバ®を錆びにくいオーステナイト系ステンレスで製造しないのはなぜ？

オーステナイト系ステンレスは、焼き入れをしても硬化しないためです。

ダンバは刃先で下穴をあける必要があるため、

焼き入れすると硬化するSUS410を原料として製造しています。

また、ステンキャップのキャップ部分は錆びにくいオーステナイト系ステンレスを

原料として製造されています。ぜひご検討ください。



ステンキャップ。
鉄骨下地用

ステンキャップ
木下地用

商品詳細等については
弊社営業へお問い合わせください！
ご用命をお待ちしております。

若井産業株式会社

本社 〒577-8503 東大阪市森河内西1丁目6番30号
TEL(06)6783-2081 FAX(06)6783-6198
東京支店 〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地3丁目1番地9
TEL(048)961-2150 FAX(048)961-2156
http://www.wakaisangyo.co.jp/ W202405M



Instagram @wakaisangyo